

バウハを学びましょう

小世和彦

「バウハ合唱団」なんだから、ただ歌うだけじゃつまらない。

そもそもバウハさまか、どんな男で、どんな時代か、どんな考え方で、どんなものを作ったのかか、とつくりとわからなまや「やれカンタータだ」「それモテファトだ」といったって、しよせん「仏作って魂入れず」ということになるわけだ。

名前はかり氣張ってバウハの名を冠してみたところで、アホみたいな顔して講演とおりの歌っているだけじゃ聴衆がついてくるわけがない。

まして、かの敬愛すべき大バウハの顔に、泥をぬってしまふことにもなりかねない。

そこで大いに「バウハを学びましょう」というわけだ。

学んで、学んで、学んだあげくに、やうに二百年前の年とった異人さんは会えるということになる。

なにして、向う様は、もう足らないのだから、こちらから苦勞しても歩み寄るほかに術はない。

しかし合せて話してみると、なかなか人間味がある。信心持って、話のわかった「いい小父さん」ということが段々とわかってくる。

決して、カテドラルの奥深く、陰険な顔をして上ばかり見ている「隣りのこわい親爺さん」じゃないのだ。こうして彼と親交を結ひはじめると、やうと彼の言っていることがわかりはじめ、立身正しく通して、何と彼が「おおう」としていたかかってくる。

彼独特のあの音楽技法の、生み出された世界とその必然性の理解もしてくる。

かくしてこそ、僕たちは彼の教をまきまきと教えるようになってくる。あのバウハの、今もなお躍動する生命力を共にわかると共に、更に多くの聴衆に伝えることが出来るだろう。

たか一方、いやあふにあたっては、よつほど「フントレ」を締めてかからないと必ず途中で挫折する。先にも書いたように、長いとは経過しているうえに、当時の時代思潮は簡単に彼の身辺をあつてみただけでは、理解できる代物ではない。まして彼は「音楽の父」と呼ばれる大物である。その世界は、音楽、声楽、交響曲のあらゆる分野にわたる、量的に質的にまた時間的に一朝一夕で説明されつくされるようなものではないはずである。とりとて「サワリ」だ「ヤ」やってみたって何の意味もない。「バウハの奴、子供が二十人もいたんだってよー」こんなことで片づけられるのが「オチ」だ。だからよっぽとみんなの意欲をもやして手を取り合って一歩一歩と前進していかなければだめだ。幸いバウハは長年傾倒しておられる徳澤先生が僕達と一般を対象にしてバウハセミナールを毎月一回(才四月曜日に)開いて下さることになつた。これを初めとして大いに学びの団の精神的向上をはかり、バウハを学びバウハに学ぼう。会費は百円(田員は無料)の予定で、内外のレコード提供者もあつたれを定めた内容が期待されるが、その第一回セミナールは、プレーヤーの入手都合から四月二十二日となる予定である。

——バウハセミナール開講にあたって——

# カンタータ 一八二番 解説

アーノルド・シエーリンクス

山下広 訳 (抄)

このカンタータは特に棕櫚の聖日のためにバワハが

一七二五年吹ワイマルで作曲したものであるが、この日

より後に行われる則を行事に使われてもよいのであ

る。序論には「受難日又は聖母マリア告知祭」とい

う標題がつけられている。この譜には三つの異った版

があるが、このことはこの曲かいろいろな場合にしば

しば懐奏されていたことを示している。歌詞の作

者はザイロモン・フランクであるとして殆んど誤りな

い。

曲そのものは二風変った構成を構っている。それは

例えは三つの詠唱は結び合せておらず曲の真中には

置かれ、叙唱とコラルでこまれており、しかも

コラルはもう一度合唱の曲で完了する。これは

よりそれ以後の作品の試みと同じようである種の調

和の差しやが懐奏されてくる。しかしこゝではバワハは

心ゆくまでそれを樂しんではいない。詳帯四りの八と

九からの非常にうまい引用を形成する程かい叙唱二

番の例外を除けば全部自由詩である。歌詞は最

高の音楽的感情を具えている。故にの氣持と棕

櫚の日の聖國氣との間の非常に上手な関連づけが

あり、受難日と十字架との関連づけ、キリストの愛

とその殉難の関連づけも極めて巧妙である。

冒頭の合唱でイエスの入城をバワハが描いたのは当

然のことであつた。以前からキリスト教徒は棕櫚の五日

に行列を作つてイエスの入城をそのまま繰り返し、棕

櫚の葉や牝ろはをもつて祝うのが常であつた。この

たのに行進曲風の祝典曲ではじまるのである。ウァイ

オリンとフルートが行進のはじまることを知らせる。

それはやさしく、情熱な乙女のようなのである。續いて

歌い手の群が入ってくる。先頭には四人の独唱者、五

小節目から番巻が入つてきて、それに従つて合唱がは

じまる。この曲は勇壯な感じなので、すべての人が好き

になるとは限らない。以後になると曲の性質が變つて

きて、受難日にふさわしいようになつて、本来の憂國

氣の中で、落着いた平和な感情があらわれてくる。

展開部の簡潔さは二つのフーガの主題の簡潔さと

相応している。口短調で上手に組立てられた中間部で、

も(予想外にやさしく愛らしい旋律であるが)短かく

要領を得ている。そして織りなすような多様な伴奏

で各声部、又全合唱のイエスへの呼びかけになつて

いる。

三つの詠唱の後にくるコラルの幻想曲は、長めに

あつた歌に似たうきうきしている中にもカフより歌が岩の様に

そいそ立っている。曲はこれこそほんとうの壮麗で

かといえるようなすばらしいペタル立音で終りを告げる。

このコラルの幻想曲にはまさに巨匠の特色が遺憾なく

あらわれているので、この作品がライプツヒヒ時代のもの

であると考へやすいのであるが、こういう手帳はバワハ

の全作品に共通している手帳であつたのだろうか。

「いややゆらんわれらサレムに」のところはまきまき

して新鮮な情氣に湧き出ており、またおどろくばかりに

すばらしい嬰ハ短調の中間部があるが、これさえも

主導的な立場をコラルの幻想曲に譲り渡さなければ

ならなくなっている。

三月例会より

三日午後二時一五時

芦花恒春園内座敷

コートなんかぬきすててピョンピョコとひまわりたような明るいひな穿りの日曜日。

例會のある芦花公園へと急ぐ。

古風な葎葎と屋根が林の中に沈黙しており、との樹もとの家も昔の思ひ出にふけっている。

ただ紅梅だけ春の訪れを長んでいるようすである。私たちも、の暮村々の中にそと足を忍はせて芦花のおもかげをたどる。

わすかに集った団員(森井先生ほか女声六、男声一)がすうりとひな壇ならぬ座敷にすわり、ひなあられをつまみながらおしゃべり。

公園を散歩する人たちが、からす戸廻りに私達をみて、色々と想像をめぐらすらしい。(芦花のヒーローの集りかな?、なんて)ふと耳にした言葉「お見合のな?」にはみんな大笑い。男性ひとりにはして女性七人のお見合なんが聞いたことのない。

さて、はじめに自己紹介。去席者が少ないためまとまった話し合いはできなかつた。例によって、

年回訂票や月報をひろげて、ほそほそ。

ミニナルを月に一回(オ四月曜に)行ない、バツハの音楽をじっくり鑑賞しようという考えがでている。

そうやってバツハに少しでも親しみたいなら、合唱ももっと味加でてくるにちがいない。

刺服については、18日までに200円を有賀さんまで。

(女の方だけ)、これを思うとふと、ころか何となく笑々としてくる。でもそれを着て勢揃いしたところはいよいよ合唱団らしくなることだろう。衣裳まけしないように中味もしっかり頑張りなくては。

後援会のプリントができた。この人と思う方々にどんどん入会していただいたいという人とおねだりいたしましよ。

春とはいそ気がついてみると冷えびえとした、なぞゆかぬか違ってきたりする心細くなる。記念撮影などして少し早めに引きあげることにした。春風の暖かさはどこそやら、世界は灰色に変わっていた。ふんわり梅の香かたなよう武蔵野の中をみんなぶぶらぶらと歩か。

赤きなみちを考えた、こころやめて止まなからず、みんながバツハを自然に口ずさみいつの向にかさかいた合唱になつたら素晴らしいだろうなと。

A4 竹田 懐子

オ1回定期演奏会について

今年からオオルカンとカンタータの会々からは独立して、バツハ合唱団主催の《定期演奏会》としてオ1回演奏会を催すことになった。オ1回は次の通り決定。

日時 4月13日(土)午後6時30分

場所 弓町本郷教会

(都電 真砂町 下車) 地下鉄 本郷三丁目

曲目 1. ハッバ・カンタータ84番(独唱のみ)

2. ハッバ・前奏曲とフーガ ト長調

オルカン小曲集より 三曲

3. ハッバ・カンタータオ182番

出演者

指揮 池宮英次氏

独唱 三宅春恵(S) 木村房子(A)

石井昭孝(T) 芳野靖夫(B) 4氏

オルカン 富永哲郎氏

フルート 小出 氏

オーボエ 小泉 紘氏

弦楽 ハッハ管弦楽団 (8氏)

◇ 団員への注意

去債資格 4月12日(金)も含めて、今年度10回以

上の出席回数のある者に限る。(したがって

3月11日(月)までに(入団)していなければならぬ)

服装

男性 黒または紺着丈 白ワイシャツ

黒蝶ネクタイ 黒靴

女性 黒ヘルベツト上着 黒ウツタスカート

の制服(花代権算 200円を3月18日までに

SI有償まで、向に合わない方はその旨

有償に届け出て下さい)

練習(日・月の練習の他)

4月12日(金) 午後6時から(オケストラ合同)

4月13日(土) 午後4時

団員アンケート

- 1 S5 松本京子 一三・一四
- 2 都立三鷹高校卒
- 3 高校の音楽部
- 4 宗教音楽・讃美歌

5 小田京氏の「なんでも見てやろう」の如く、

私は「なんでもしてみよう」という愛お

しみ・特別十八番の如きものはなし。

お茶と乗馬をすし。

6 とでもまじめで、親切で、やさしく、おとな

しく、頭がよくされて、誰からも好かれる性

質——「なったらいいなあ」と思っています。

7 自分というものをしっかりと持っている。

表情はとっつきつつかいか、なかなかファイトの

ある楽しい方です。

1 TB 若山 博 九・二二

2 都立九段高校

3 なし

4 現代のものも(た)し用(て)いた(は)う(です)か)

5 語学コード収集および鑑賞・古本あり・

入浴

6 ひとりっ子の長所と短所を正直に書きな

えているようだ。自分でもよいと思(う)と(ころ

—— 停学反動、執念深いこと

7 彼は謙遜そのものの人である。彼の言ってい

ることをまともに受け入れると、いかにも偉もで

まないよう、人間に思えるか、いやいやどうして、  
でも読譜の方は自信がなからしい。合唱団で、  
その除かれたる真価を大いに發揮してもらいたい。

三月出席統計

	3・4	10・11	17・18	24・25	平均
S	5	6	7	7	6
A	7	7	8	8	7.5
T	2	3	3	3	2.8
B	3	3	6	3	3.8
計	17	19	24	21	20

月報才八月でお知らせしましたように、ハッハ合唱  
団の後援会が設立しましたが、少しでもこの会に作  
理解と作厚意を寄せて下さる方々に後援会に入会  
をしていただきたいと思(い)ます。誕生したばかりの  
この合唱団を温く育てるためにあなたの作協力を  
お待ち——いたします。後援会入会のおすすめしか  
事務局に用意してあります。